

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 2 月 26 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	温泉旅館「山水閣」における木質ペレット式ボイラー転換による CO2 削減事業	
承認番号	JCDM-PJ0024	
排出削減事業者名	株式会社山水閣	
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社	
事業実施場所	温泉旅館 山水閣 (栃木県那須郡那須町大字湯本 206 番地)	
事業の概要	温泉旅館の温浴施設用熱源を灯油焚ボイラーからペレット式ボイラー(バイオマスボイラー)に転換することにより、燃料コスト削減と同時に排出削減をはかるものである。	
排出削減量の計画	256tCO2/年 (事業実施期間合計 1,024tCO2)	
国内クレジット認証期間	事業開始日	2009 年 4 月 24 日
	終了予定日	2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新	

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 24 日～2010 年 1 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	188tCO2 (2009年4月24日～2010年1月31日)
-------	---------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 承認排出削減事業計画通りに、既存灯油ボイラーをバイオマスボイラーへ更新する事業が実施されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 導入設備が本実績報告期間において稼働していることを、現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、木質ペレットの使用実績値、助燃剤である灯油の使用実績、稼働時間の確認等により、本実績報告期間における導入設備の稼働状況を確認している。 事業開始日が承認排出削減事業計画から変更があり、実際の開始日に変更していることを、ペレットボイラー稼働実績表及び関係者への質問により確認した。 排出削減事業計画書：2008年4月1日 排出削減実績確認報告書：2008年4月24日 その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 承認事業計画に従って、木質ペレットの使用量が燃料供給会社からの請求書から集計されていること、事業実施後ボイラーの稼働時間が稼働日数から集計されていること、木質ペレットの単位発熱量が分析機関の証明書から算出されていることを確認した。 木質ペレットの使用量については、担当部署責任者の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、燃料使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。

	<p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後輩出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 24 日から 2010 年 1 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 71.7k1 であることを確認した。